

全国学力・学習状況調査 調査結果概要 H28年度 西前小学校6年生

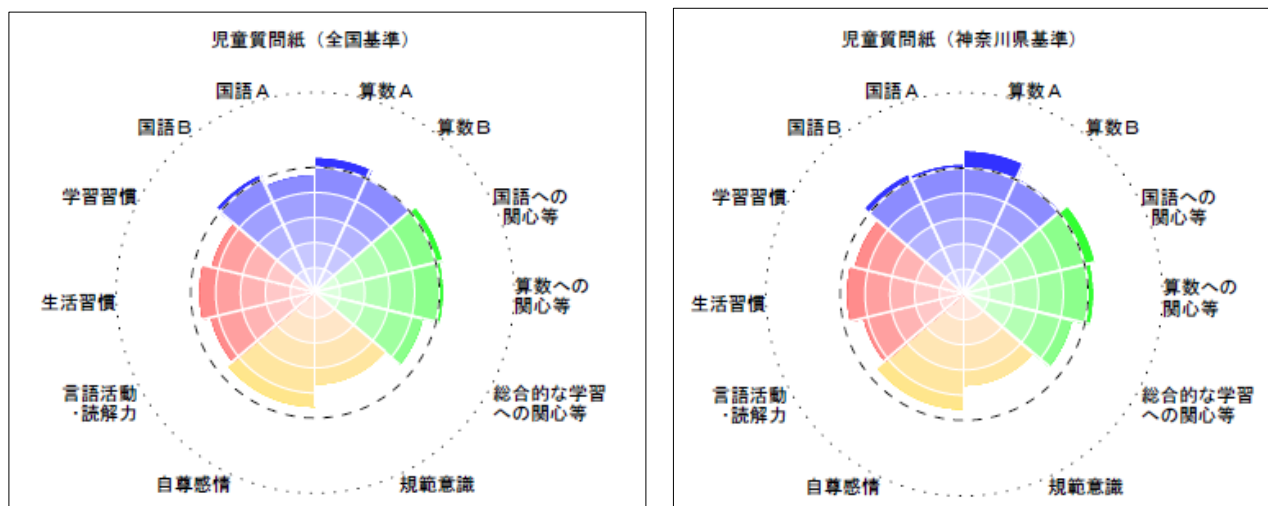
1 学力調査の結果(平均正答率)

	国語A(知識)	国語B(活用)	算数A(知識)	算数B(活用)
横浜市立西前小学校	70.2%	58.8%	80.3%	46.7%
神奈川県(公立)	70.3%	58.2%	76.6%	47.3%
全国(公立)	72.9%	57.8%	77.6%	47.2%
全国平均との差異	-2.7ポイント	+1ポイント	+2.7ポイント	-0.5ポイント

【考察】

平均値を下回ってしまった国語の知識については、学習した漢字を日常生活でも積極的に使い、本や新聞などの活字にふれ、語彙を増やしていくよう指導していきます。また、書く能力を伸ばすために、国語以外でも普段から自分の考えや気持ちを書いて表現する機会を増やしていきます。算数では、基本的な計算や文章題を読み取って適切に立式することはできていますが、式の意味を説明したり、式の中の数値の意味を解釈したりすることが苦手であるという結果になりました。公式や計算の方法を暗記するのではなく、なぜそうなるのかを考える習慣を身につけ、説明する機会を増やし、「数学的な考え方」を深めていけるような授業に取り組んでいきます。個人差もあり、定着が不十分な児童もいますので、個別指導をしたり、苦手な分野を繰り返し指導したりしながら、よりわかりやすく、楽しい学習をすすめていきます。

2 学力・学習状況調査(質問紙)の結果



※ 上記の円グラフは、点線(---)の円が、左右それぞれ全国、神奈川県の平均値です。点線より、外側にあるものは、平均を上回るプラスの側面、円の内側にあるものは、平均を下回るマイナスの側面と見ることができます。

【考察】

上のグラフを見てまず気づくことは、規範意識の低さです。実際に「学校の決まりを守っている」「友だちとの約束を守っている」「人が困っているときは進んで助ける」の、どの項目も全国平均を下回っています。また「友だちの話や意見を最後まで聞くことができる」という項目についても全国平均以下の結果となり、そうした意識が授業中の取り組み姿勢にも影響しているのではないかと考えられます。中学に向け規範意識を高め、当たり前なことが当たり前でできる、判断力と思いやりをもった児童を育てていくよう道徳の時間を軸にしながら指導に努めます。

反対に全国平均を大きく上回っていたのが、「テレビやビデオ、ゲームなどに費やす時間」と「携帯電話、インターネットに費やす時間」です。どちらの項目も、全国平均の倍近い児童が、多くの時間を使っている結果となりました。その分「家で学校の復習をしている」や「本や新聞を読む」などの時間が全国の児童に比べて短いという結果につながっているのではないかと考えます。改善するには学校だけでは難しい面もありますので、ご家庭でも上手な時間の使い方や好ましい学習・生活習慣など、もう一度話し合っていたり、学校と家庭が力を合わせ、指導していきたいと考えます。

「学校に行くのが楽しい」「国語や算数が好き」と感じている児童が全国平均を上回っていたことはうれしい結果であり、学力的にも高い力をもっているため、子どもたちの意欲を大切にしながら、より学力と心のバランスが取れた児童の育成を目指すよう指導・支援を重ねていきます。